

# Weekly Report

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO



創 立：1980年(昭和55年)11月10日  
 会 長：泉 憲一  
 幹 事：亀井 直人  
 クラブ委員長：山回 哲司  
 例 会 日：毎週木曜日PM12:30～  
 会 場：ビルトン名古屋

事 務 局：460-0008  
 名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号  
 T E L：052-211-3803  
 F A X：052-211-2623  
 M A I L：2760\_nagoya@mizuho-rc.jp  
 U R L：http://www.mizuho-rc.jp/

## 第1623回例会

～R財団月間～  
 クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2013年11月14日(木) 晴 第19回 なごやか例会

司 会：鶴田浩会場委員

### 会長挨拶

泉憲一 会長

皆さん、こんにちは。この場で報告するか迷いましたが、10月31日に私の母が亡くなり、11月2日に葬儀を行いました。本人の意思に沿い、身内だけで行いました。皆様には後ほど書面をもってご挨拶させていただきますのでよろしくお願いたします。



それでは会長挨拶に移ります。今週、名古屋RCに行った際に長谷川社長にお会いし、彼が卓話担当で歌舞伎の話がされたのもあり、本日は御園座について今後の展開も含めお話をします。

御園座は今年の3月で閉館しましたが、2018年7月に完成予定だった新劇場の完成時期を前倒しし、2017年末とする方針を明らかにしました。「中部地方の皆様の期待も大きく、一日も早くオープンしたい」という幹部の願い通り、開業を2018年の正月に合わせることで、劇場収入をあげようという計画です。手続きを早め、来年夏にも旧劇場の解体工事などに取りかかる予定だそうです。

ここまでたどり着くには、特に資金繰りの面でも苦労の連続でした。今年5月には、現劇場の土地と建物を60億円で積水ハウスに売却し、銀行団からの借入れ金38億円を完済しました。さらに新ビル完成後に新劇場を買い戻す予定だそうです。そして今年8月には名古屋財界185の企業・団体・個人から約33億4000万円と、三菱東京UFJ銀行から融資約6000万円の計34億円の投資目標額を達成しました。その他にも愛知県・名古屋市は補助金などを通じて建て替えや運営を支え、松竹・東宝・中日新聞は公演の協力で、御園座を支援していく方針を固めています。

出資企業もそろい、ようやく建て替えにめどがついて一段落しました。しかしこれからが本番で、一番の課題である「集客率の向上」をめざし、黒字経営を続ける為に、実際にどんな演目を打ち出すのか、稼ぎ頭の歌舞伎公演で人気役者をどう確保するか、といった検討が急務になります。

また、今までの御園座は1650席ありましたが、新劇場は2～3割減と多少小さくなるそうで、客席の稼働率を向上させて収益力を高めるために、新劇場はより多くの演目が演じられるようにするそうです。たとえば、ミュージカルなども上演できるようにオーケストラピットの設置も考えられ、マルチ対応できる劇場を目指し、若い世代向けのコンサートを強化する構想を練っているようです。

現社長の長谷川氏は「現在、年2回の歌舞伎の上演回数を増や

したい。若年層や新たな顧客を取り込む施策も考えている。歌舞伎の興行費用削減などコストも圧縮する。また、リース事業や瀬戸市で運営する老人ホーム・ミソノピアなどを手放し、本業に回帰する。さらに出演者に名古屋出身の役者を起用することで名古屋らしさを打ち出し、同時に役者の交通費など公演コストの削減にもつなげたい。名古屋からスターが誕生すれば嬉しい」と言います。

また、本来ライバルであるはずの中日劇場と統合させる案も検討されており、中日劇場が入る中日ビルの建て替え時に劇場をなくし、公演のノウハウを新しい御園座の劇場に引き継いで一本化させるという案です。御園座の建替期間中は中日劇場や日本特殊陶業市民会館(名古屋市民会館)を借りることになるため、ライバルでもあり、良き同業者の関係です。

新劇場は地上41階、地下1階で、高さ約150メートルで、1階に店舗が入り、2階～4階に劇場が入り、5階～最上階までは分譲マンションの予定です。運営にあたり、様々な問題を抱えている御園座ですが、名古屋の演劇文化を守るため、地元企業が出資協力し御園座の再生を期待しています。4年後の2017年の完成が楽しみです。

### 出席報告

高木元明 出席委員長

会員63名 出席40名 (出席計算人数45名)

出席率 78.4% 11月 7日は補填により 88.5%

### 11月お誕生日おめでとう

川本 昌市さん 森 恒夫さん

### ニコボックス

高木元明ニコボックス委員長

・11月8日に叙勲で旭日小綬賞を受章しました。

本多 清治さん

・10月26日は妻の誕生日でお花を頂き、ありがとうございました。また11月6日にはゴルフ例会で優勝もさせていただきました。本多様、加納様、おめでとうございました。

田中 宏さん

・本多さん、旭日小綬賞の受章おめでとうございました。公益社団法人千種法人会の会長も続きますが、ご活躍をお祈りします。

遠山 堯郎さん

・本多さん、加納さんおめでとうございました。延平RCの皆様が満足して帰られた様子でなによりです。

鈴木 淑久さん

・本多さん、加納さん、お目出とうございます。

内田 久利さん

・本多さん、加納さん、おめでとうございます。急に寒くなりました、風邪にご用心下さい。

高木 元明さん

・おかげさまで、13日は次女(21歳)17日は長男(25歳)の誕生日です。ありがとうございました。

佐治 寛行さん

・11月22日は私の誕生日です。

森 恒夫さん

## 幹事報告 堀 慎治副幹事

- ・11月21(木) 13:40よりヒルトン名古屋9階「ことぶきの間」にて第3回CA・第5回理事会を行います。
- ・18:00よりトラットリアカプリオーレにてヴォジョレヌーボーを楽しむ会を行います。
- ・地区大会のプログラムと名札がメールBOXに入っているので、当日お持ち下さい。

## 米山功労クラブ表彰

当クラブが第40回米山功労クラブとなり、感謝状を頂きました。



## 「森の防波堤」プロジェクト

### 社会奉仕委員長 八木沢幹夫さん

貴重なお時間を頂きまして、ドングリの発芽、生育、育苗の経過について10分程度お話致します。まず報告として、先週、常滑にある高村さんの野菜工場にて土な



どを管理できる体制が整いました。名古屋瑞穂RCの看板も立ててあり、来週から発芽、育苗ができる施設になります。長期ビジョン委員会で発案されて理事会で承認を得て、「森の防波堤」プロジェクトのチームで発芽、育苗したのですが色々な意見があり、植樹において東北のドングリと名古屋のドングリでは遺伝子攪乱の問題が絡んでくるそうなので、現在育苗して頂いているドングリについては名古屋で植樹場所を探します。今後は東北協議会というNPO法人を通し、東北のドングリをこちらに送って頂き、それを先程ご紹介した施設で発芽、育苗させます。発芽状態を見てポットに植え替えたら、育った苗を各自持って行って育成して頂く予定です。2年程育てると70cmくらいまで大きくなると思います。12月1日に宮脇先生にお目にかかる予定があるので、今後の予定、現在使用している豊田合成のポットより良い物がないか、具体的に東北のどの地点に植樹するのかをご相談したいと思っています。

ベジ・ファームの整地が気候の都合で遅れましたので、今後の予定は11、12月に施設に東北からのドングリの苗を植えて、春又は状況によっては秋になりましたら苗を各自植えて頂くと思っています。その為にはどのくらいどこで育てるかについてのマニュアル

を制作し、数には皆様にアンケートの記入をして頂いてから決めていきます。問題もまだ沢山あり、知識のある方や他の団体の力を借りながら進めていきたいと思っています。以上ご報告でした。

## プロジェクトリーダー 高須洋志さん

先日、延平RCの方のお見送りの時にアンケートをとらせていただきましたが、17日に岐阜美濃で発芽させた苗を持ち帰る作業がかなり残っていますので予定の空いている方はご協力お願い致します。

また、東北での植樹は東北のドングリでないと問題があることが分かりましたので、東北からドングリを取り寄せて発芽させ、植樹しに行くことになりました。現在育てている苗はテストとして県内で植樹します。それが終わりましたら、東北のドングリを発芽させる準備をします。

12月1日に豊田合成が四日市で植樹を行うイベントに参加していただくと助かります。あとで個別にご相談に参りますのでよろしくお願いたします。

## 例会写真



## 例会のご案内

- 今週の卓話 11月21日(木)  
卓話講師：地区ロータリー財団委員会委員長 鈴木文勝さん  
内 容：ロータリー財団未来の夢計画について
- 次週の行事 11月23日(土)・24日(日) 地区大会  
場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル
- 11月28日(木) 振替により休会